

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告

春日井市立東野小学校

事業テーマ	特色ある学校づくりに関する事業 教員の指導力向上を目指した取り組み	
取組の目的	個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、対話を意識した授業づくりが大切だと考えています。児童同士や教員・児童間の円滑なコミュニケーションや児童の自尊感情の向上を目指して、3年前より取り組んでいる『スマイルタイム』を継続すること、またグループによる協働的な学びの在り方を研修で学ぶことを通して、魅力的な授業を展開し、児童のかかわりの力の向上をめざすこととしました。	
区分 (○印を付ける)	○ 新規事業 ・継続事業（総事業年数1年間、1年目）	
事業名	事業内容	実施時期
・人間関係づくりのスキルを育成するためのトレーニング「スマイルタイム」(SST・SGE)	・かかわりプログラムSsimple 代表 曾山和彦先生による指導	6月
・授業での対話を促進するための「グループによる協働的な学び」についての研修	・至学館大学教授 鈴木正則先生による指導	9月

【スマイルタイム研修】



全校で毎週水曜日（朝10分間）に『スマイルタイム』を実施しています。

ソーシャルスキルトレーニング（SST）と構成的グループエンカウンター（SGE）の考えを取り入れた曾山和彦先生考案の「スリンプル（simplode）プログラム」を通して、話をする・話を聴く力、人と関わる力、コミュニケーション力を向上させることを目的として行っています。授業でも『スマイルトーク』という形で

SSTの話型を用いることで、話し合い・かかわり合いの力を向上させています。

6月9日(月)には、『スマイルタイム』の研修を行いました。先生方の指導力の向上を目指して、他学年の活動の様子をお互いに参観しました。曾山和彦先生にも『スマイルタイム』の様子をご参観いただき、その後の研修ではスリンプルプログラムの理論について改めて確認し、本校の『スマイルタイム』の改善点についてご指導いただきました。

【グループによる協同的な学びについての研修】



9月18日(木)には至学館大学教授鈴木正則先生を講師にお迎えし、授業を参観していただきました。そのあと、協同的な学習の理論や、授業での具体的な実践方法について教えていただきました。

【取組の成果】

毎週10分、友達と交流する『スマイルタイム』の時間を児童も楽しみにしており、和気あいあいとした雰囲気の中で、笑顔で活動に取り組むことができます。相手の話を聴くスキルや、自分の話し方・聴き方を振り返る時間は、日常の授業の中でも生かされており、「『スマイルトーク』で話そう」と言われたらさっと向き合い、話し合う姿勢を取ることができるまでになってきました。

グループを通じた協同的な学びについての研修では、友達の考えを大切にし、つなげて考えていくこと、全員を大切にすることで学級も成長できることを再確認することができました。

学校評価アンケートでは、「学校は楽しいですか」という質問に、90%の児童が「そう思う」「ややそう思う」と答えています。また、「授業の内容がよく分かりますか」という質問には、91%の児童が「そう思う」「ややそう思う」と答えています。このことから、本事業を通してかかわりの力が培われ、またその力が授業でも発揮されることで、本校の児童が充実した学校生活を送っていることが推察できます。

今年度の取組を生かし、来年度もさらによりよい学校づくりに努めていきます。